

## 蓄熱式暖房のすすめ「暮らしのメリット」

## 蓄熱の仕組みによりシステムが分かれます。

蓄熱式暖房には、「蓄熱式暖房器アルディ」「蓄熱式床下暖房システム」「蓄熱式床暖房システム」の3種類あります。それぞれ形状が異なるだけでなく、蓄熱式暖房の心臓部である、蓄熱材に大きな違いがあるのです。どの暖房がよいか…それぞれのお宅に合わせてお選びください。

## 蓄熱方式の種類と特徴

### 顕熱(けんねつ)とは？

温度上昇する際に、物質から放出されたり、物質が吸収したりする熱エネルギーである。

「蓄熱式暖房器アルディ」、 「蓄熱式床下暖房システム」

### 潜熱(せんねつ)とは？

相転移するときに物質から放出されたり、物質が吸収したりする熱エネルギーである。気化熱、融解熱、凝固熱、凝縮熱などがそれにあたる。対の言葉は、顕熱である。

「蓄熱式床暖房システム」

1. 高温タイプは酢酸ナトリウム3水塩で、凝固温度は40℃です。

「輻射熱」とは (

(

## どの部屋も同じ温度だから、体に優しい

冬の寒い朝、トイレに立つのがおっくうだったり、お風呂場の脱衣場で体がすくむような冷気にさらされることはありませんか。

部屋によって室温が急激に違うと「ヒートショック」といって、血圧と心拍数が急上昇して、脳卒中や心臓疾患を起こしやすくなります。

入浴中に急死する人は、年間1万4000人(財団法人東京救急協会2001年3月調べ)です。これ 後、交通事故の死亡者数である年間8700人(警視庁2001年調べ)をはるかに超えてしまう大きな問題になっているのです。

これからの生活や高齢化社会を考えるのなら、廊下や洗面所も均一に暖かくなる輻射熱の24時間会

体にも優しい「熱のバリアフリー」について真剣に考えてみませんか。

転々了熾臉：薈 巳 が齡







